

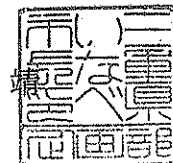


い広秘第 32 号

平成19年 4月26日

国土交通省道路局長 様

三重県いなべ市長 日 沖



道路整備の中期的な計画の作成にあたっての意見書の提出について (回答)

拝啓 春暖の候 貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃は当市の道路行政に対し格別の御協力御援助を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標題の件について、本市の意見を別紙のとおり回答しますのでご検討の程よろしく申し上げます。

敬具

事務担当 いなべ市役所
企画部広報秘書課 伊藤
TEL 0594-74-5802
FAX 0594-74-5821

道路整備の中長期的な 計画作成にあたっての意見書

平成19年4月

三重県いなべ市

国土交通省の中期的な計画の作成にあたっての意見書

三重県いなべ市

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

高規格幹線道路等の整備促進の必要性について

(1) 企業誘致活動

本市は三重県の北端に位置し、名古屋中心部まで25km、岐阜県・滋賀県とも境を接しており、古くは純農村地帯として栄えてきたが、昭和50年代以降、自動車関連企業をはじめ多様な企業進出が進んでいる。平成17年の製造品出荷額は8,400億円で過去10年間で倍増しており、市の税収の3分の2を占めるまでになっている。

更なる経済発展、雇用機会の確保による若者の定住化、市財政基盤の確立を図るため今後、市内工業用地に優良企業を誘致することが不可欠である。しかし、企業誘致活動は、もはや国内自治体間との競争に留まらず、生産・進出コストの安い海外も含め、いかに早い時期に投資する環境を整えるかの競争になってきているのが現状である。

したがって、東海環状自動車道や第二名神高速道路等の高規格幹線道路の整備については、一日も早い事業完成を図り、物流の効率化・高度化を図ることによって、企業の投資環境を整え、市内工業団地への国際競争力の強化を図るだけでなく、産業の空洞化を食い止め国内への企業進出を推進することにも寄与する。

(2) 救急医療体制の充実

本市の医療機関については、病院、診療所等の医療機関の数は比較的充実している。しかし、重篤患者に対応する三次救急医療施設が市内にはないため、医療施設の整った四日市市まで搬送する必要があるが、市内から救急車を利用しても1時間半程度を要するため、時間とともに症状が変化する救急患者にとっては致命的になることがある。

したがって、高規格幹線道路等の整備の促進は、本市から救急医療機関までの搬送時間を短縮し、住民の「安全・安心の確保」につながるものである。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

市内幹線道路及び生活道路整備に対する財政支援

本市は、交通の利便性向上や住宅開発などによる人口の増加にともない、都市基盤の整備を計画的に推進してきたが、社会の成熟化や価値観の多様化が進む中では、利便性・快適性の確保に加え、住む人や訪れる人を魅了する個性的なまちづくりが求められている。

そのため、現在計画が進められている東海環状自動車道インターチェンジ周辺地域に、地域特性を活かした都市整備の推進を図ることにより、新しい都市の拠点作りを進める必要がある。一方、古くから市街地が形成されている地区や鉄道駅周辺をはじめとする既成市街地の利便性向上を推進するなど、市民にとって魅力や誇りとなるような都市づくりを進めることが重要である。

そこで、市内幹線道路及び生活道路を整備することによって、市内の各地域の拠点整備や道路と既存の鉄道・バスなど公共交通機関との連携により、周辺各都市とのネットワーク化をこれまで以上に推進する必要がある、今後とも国費による援助が必要である。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

(1) 事業完了年度の明確化

幹線道路等を整備するにあたっては、事業完了年度を可能な限り早期に設定、かつ明確にして、計画どおり実施することを要望する。

(2) コスト低減と通行料金の弾力的運用

高規格幹線道路等の建設及び維持管理を行うにあたっては、コストを極力抑制するとともに、通行料金の弾力的な運用等により、経済活動の活性化に寄与するよう要望する。

添付資料



平成19年4月

いなべ市長 日沖 靖

1	東海環状自動車道について	・・・	1
2	県道四日市員弁線バイパスについて (都市計画道路 員弁大安連絡道路)	・・・	2
3	道路整備について	・・・	3

1 東海環状自動車道について

東海環状自動車道は、名古屋市の周辺30kmから40kmの圏域に位置する愛知・岐阜・三重の3県の豊田、瀬戸、岐阜、大垣、四日市、桑名などの諸都市を環状に連結し、東名・名神高速道路、中央自動車道、東海北陸自動車道や第2東名・名神高速道路などの高速自動車道と一体となって、広域的なネットワークを形成する高規格幹線道路で、東海地域の骨格として地域連携軸を形成する重要な路線です。

当市の北勢インターから養老インターまでの約18km区間については、4月に都市計画決定されましたが、東回り区間についてはすでに開通し、関～養老間については秋に杭打ち式の予定まで進んでいます。早期に事業効果を挙げるためにも、この区間についても、早期着工を強く要望いたします。

また、北勢インターから四日市方面の区間については、大半の用地買収が済んでいるにもかかわらず三重県内の工事が進んでいない状況であり、本区間の工事進捗、早期完成を強く要望いたします。

記

- (1) 北勢I. C～県境～養老I. C間の早期着工
- (2) 四日市北J. C. T～北勢I. Cの早期完成

2 県道四日市員弁線バイパスについて

(都市計画道路 員弁大安連絡道路)

員弁地区と大安地区は員弁川によって遮断され、渡河手段は三笠橋（国道421号）と大泉橋（県道四日市員弁線）の二橋ですが、近年、交通渋滞が日常化し、地域住民の生活や物流に支障が生じています。

県道四日市員弁線バイパスは、員弁町地内の国道421号と大安町地内の国道365号を結ぶ延長約2kmの道路で、住民サービスの均等化、拠点施設間のアクセス強化、防災体制の充実などに必要不可欠であり、又、産業道路の充実やバス路線としての利用が期待できます。

当該路線は、「新市建設計画」における「新市における三重県事業」の一つであるとともに、当市の都市計画道路（員弁大安連絡道路）（予定）でもあります。また、三重県新道路整備戦略にも、期間内着手として掲げていただいています。

こうしたことから、本事業の早期着手を要望いたします。

記

(1) 県道四日市員弁線の早期着手

3 道路整備について

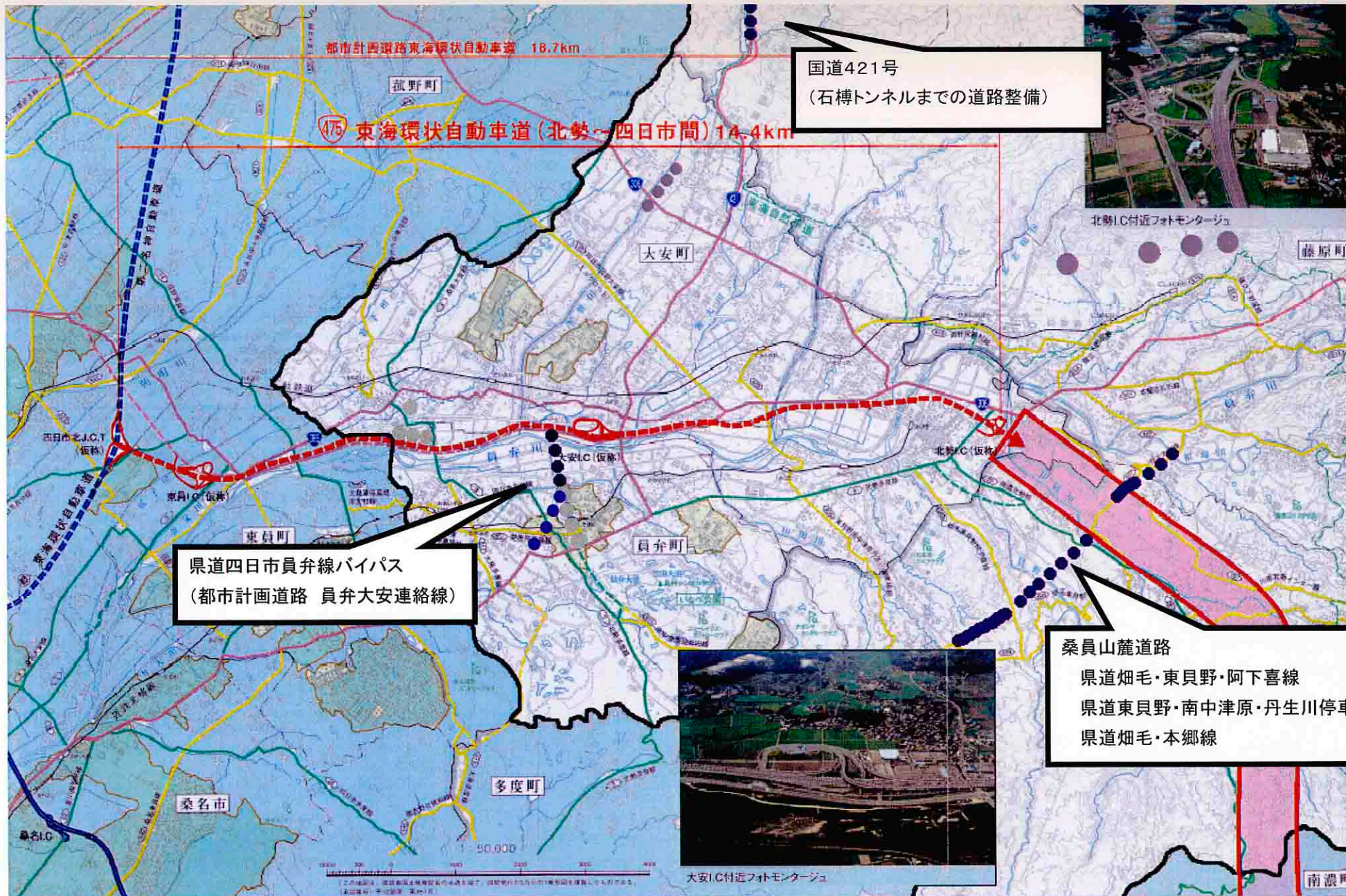
当市は県の北部に位置し、岐阜県、滋賀県と隣接する「北の玄関口」として、陸路において県内物流の重要な地域です。当地域における県内外への新たな道路網整備は物流を促進し、ひいては三重県のみならず東海地方の発展に大きく寄与するものです。また、既存路線の交通渋滞問題は、人体でいう動脈硬化であり早期治療が必要です。

国道421号につきましては、既に着手された石樽峠のトンネル工事の早期完成をお願いいたします。

桑員山麓道路につきましては、着工されている部分は早期完成を、未着工、未事業化の部分につきましては早期着工を要望いたします。

記

- (1) 国道421号のトンネル(石樽峠)の早期完成
- (2) 桑員山麓道路の事業促進
 - 1) 県道東貝野・南中津原・丹生川停車場線の早期完成
 - 2) 県道畑毛・本郷線未整備区間の早期着工
 - 3) 県道畑毛・東貝野・阿下喜線の早期事業化



国道421号
(石榑トンネルまでの道路整備)

県道四日市員弁線バイパス
(都市計画道路 員弁大安連絡線)

桑員山麓道路
 県道畑毛・東貝野・阿下喜線
 県道東貝野・南中津原・丹生川停車場線
 県道畑毛・本郷線

都市計画道路東海環状自動車道 18.7km

175 東海環状自動車道 (北勢～四日市間) 14.4km

北勢IC付近フォトモンタージュ



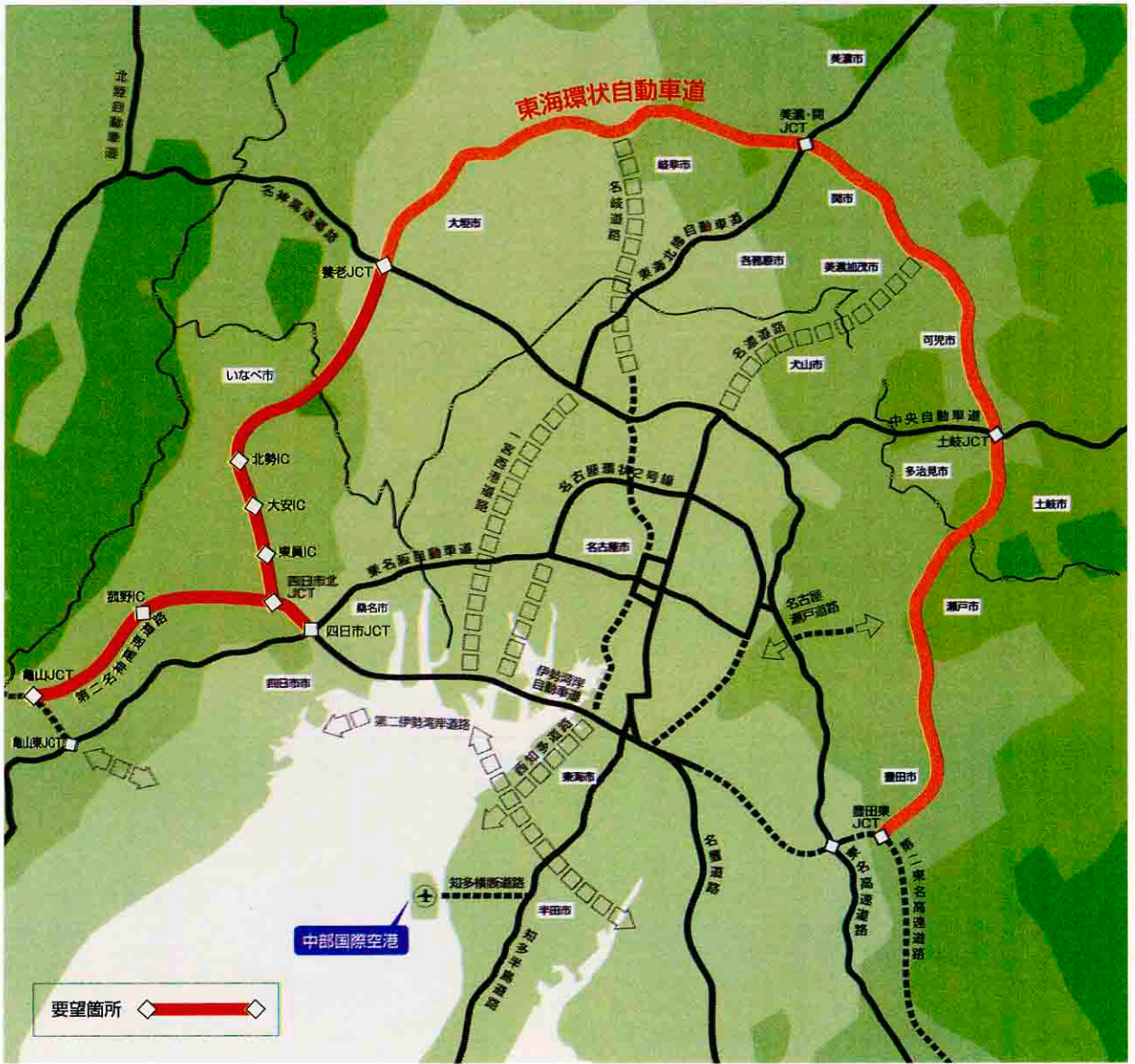
大安IC付近フォトモンタージュ

南濃町

この地図は、建設省国土院の提供による。建設省の許可を得て複製してはならない。
(製図者) 平田建設 昭和7年

道路整備に関する 要望書

株式会社デンソー
トヨタ車体株式会社
株式会社神戸製鋼所
太平洋セメント株式会社



第二名神高速道路及び東海環状自動車道の整備について

中部地域は産業技術集積を有する世界的なモノづくりの中心として、わが国経済のリード役を果たしてきました。特に、2005年には中部国際空港の開港や「愛・地球博」開催を契機として、「元気な中部」が大きな盛り上がりを見せたところであります。

しかしながら、こうした事業が中部3県のうち東側に偏っていたこともあり、東海環状自動車道については東側を先行して建設され、西側部分である養老IC＝北勢IC＝四日市北JCの間が未開通の状況にあります。

ここで2005年の工場立地件数を見ますと、中濃地方を中心とした岐阜県地域の伸びが全国1位であることが示しますように、東海環状自動車道の開通のインパクトが非常に大きなものであったことが分ります。

また、当中部圏と近畿圏との大動脈である東名・名神高速道路が飽和状態にあり、伊勢湾岸道が接続された東名阪自動車道についても交通集中時には大渋滞が発生しております。このままでは、企業にとりまして輸送面で計り知れない損失が懸念されるところです。

もとより、私ども企業にとりましては、大きく物流に左右され、従来から高規格道路の整備を強く求めてきたところでありますが、特に、東南海地震が想定される中部地域においては、災害時の早期操業再開に当たっての輸送ルート確保が緊急の課題となっているところです。

以上のことから、下記のとおり早期にお取組みいただきますように強く要望いたします。

記

第二名神高速道路

- (1) 四日市JCT＝菰野町＝亀山市間の早期開通

東海環状自動車道

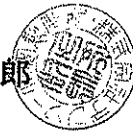
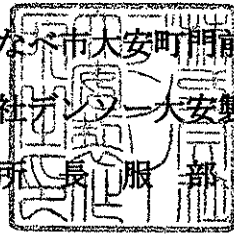
- (1) 北勢IC＝四日市北JCの早期開通
- (2) 養老IC＝北勢IC間の早期着工

平成 年 月 日

三重県いなべ市大安町門前 1530

株式会社オノソー大安製作所

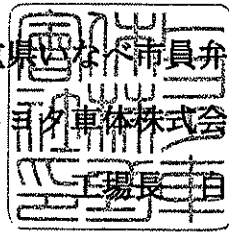
所長 服部 史郎



三重県いなべ市員弁町市之原 10

トヨタ車体株式会社いなべ工場

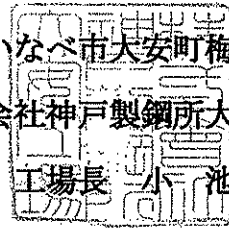
工場長 白井 正年



三重県いなべ市大安町梅戸 1100

株式会社神戸製鋼所大安工場

工場長 小池 進



三重県いなべ市藤原町東禅寺 1361-1

太平洋セメント株式会社藤原工場

工場長 石澤 清

